

令和5年6月26日

保護者の皆様

仙台市立中山小学校父母教師会会長 元村 妙子
環境育成地区委員長 伊藤 亜矢子

環境育成委員会 地区だより No.2

中山小学校 PTA 会員の皆様には、日頃より当委員会活動に御理解御協力を賜り、委員一同心より御礼申し上げます。

さて、5月の環境育成委員会（地区担当）活動として学区内の危険箇所の点検を行いましたので、結果について下記の通り御報告いたします。なお、お気づきの点や御意見等ございましたら、PTA ポスト（1階玄関お便り BOX 棚上）までお寄せください。

地区名	危険箇所	報告事項
中山西二	うどう沼	○外から見える所は比較的安全だが、奥は草木が生い茂り、スズメバチもおり危険である。雨上がりは山道が滑りやすく、滑落の危険がある。張り出しデッキも柵がなく危険である。
中山中央	鳥滝不動尊の池	○池は深くないものの柵もなく危険である。 ○住宅地から離れているため、人目に付かない。
中山東二	どんぐり山	○宅地造成のため、日中帯の工事車両の出入りがある。 ○現在、ショベルカーでどんぐり山全体の切り崩しが行われている。
中山西一・二	西幹線道路	○道幅が狭く、車両のすれ違いさえ危険であるため、子どもはなお注意を要する。 ○朝晩は交通量が多く自転車を含む車両がスピードを落とさず下りてくる。大人でも危険を感じるため、子どもの通行には特に注意を要する。 ○特に雨天時は、傘をさして友達と喋りながら歩くため、視界が遮られやすい状況で、車両への注意もおろそかになり、危険である。
中山パークホームズ	幹線道路	○車両の通行が多く、歩道上の路上駐車も多い。
中山東一	東幹線	○車両の通行が多く、中山中学校付近のカーブでもスピードを落とさず、走ってくる車両が多い。
滝道西	滝道の通学路	○公衆電話付近の道路は道幅が狭いが、スピードを出している車両も多く、登下校時に子どもが広がって歩かないよう注意を要する。 ○周囲に複数工事箇所があり、大型車両の往来が多い。 ○子ども自身の自転車交通ルールが守られておらず、スピードを出す、道路の中央を走るなどの危険な状況が見受けられる。

荒巻川平	桜ヶ丘～川平のバス通り	○歩道はあるものの車両の往来が激しく、スピードを出している車両も多い。 ○周辺で複数工事が行われており、大型車両にも注意を要する。
中山南	中山ドライブイングスクールの上の崖	○ドライブスクール上の崖には「はいつてはいけません」の看板が設置されているものの、柵は子どもが乗り越えられる高さである。 ○草が生い茂り、足元が見えない状態であり、子どもの立入りには注意を要する。
六一本沢	かいじゅう山	○木々が生い茂り、中の様子を確認できないため、子どもの入山に周囲が気付かない恐れがある。また、入口の扉には鍵がついていないようであり、かつ、フェンスは子どもが登れる高さであることから、危険である。
中山西一	梅田川上流と枯れ木橋周辺	○柵やガードレールの設置はあるものの、小学生がすり抜けられるスペースはあることから、川に滑落する危険がある。増水時には特に注意を要する。
滝道東	中山保育園の十字路	○朝夕保育園の送迎のため、急いで駐車場に出入りする車両が多い。○道幅が狭く歩道がない箇所もあり、子どもの登下校に危険がある。